

## 減感作療法について

当院では、ハウスダスト(家のホコリ)とスギに対しての減感作療法を行っています。

減感作療法は、くしゃみ、鼻水、鼻詰まり、などのアレルギー症状をおこす原因となる物質(アレルゲン)を薄い濃度から少しずつ注射していき、患者さんの抵抗力を強くしてアレルギー症状を出しにくくする治療法です。現在行われているアレルギーの治療の中では、根治が期待できる唯一のものだといわれています。ただし、全員が根治できるというものではありません。

具体的にはハウスダストやスギなどの原因物質を週に1回皮内に注射します。注射量は少ない量から徐々に増加させていき、ある程度の量になったところで維持量として継続します(多くの場合3~4ヶ月増量の途中で効果が現れてきます)。効果が安定してから注射の間隔を徐々にあけてゆき、1~2ヶ月に1回になったところで約2年間続けます。全体を通して約3年間かかります。

薬を飲んでも軽快しないスギ花粉症の重症の方や、一年中症状が続くハウスダストによるアレルギーの方には、考慮していただくよい治療法ですが、治療に根気と時間が必要です。途中で長く間があいてしまうと注射量を少し戻して行う必要がありなかなか効果のある量に達しない為、あまり定期的に治療出来ない患者さんではこの治療は不向きと言えます。また原因物質が特定できなかったり、異なる患者さんでは効果は期待できません。

好ましくない現象としては、アレルギーの原因物質を直接注射するのですから注射部には腫れ、かゆみなどの局所症状があります。また非常にまれにですが注射のあとショック様症状を起こす可能性もあり注意が必要です。このため、当院では、注射後はしばらくの間院内にて経過をみていただくことしております。また、最近ではアレルギーエキスが改善され、副作用も減ってきているようです。